

【Ⅱ. 認知度向上、技術士増】

●大学・民間組織における技術士数増加策の具体事例の調査と大学等への技術士制度の紹介

4. 各機関の技術士試験受験者増の取り組みの具体事例の紹介

【実施内容】

社内全員一次試験受験制度、企業内での技術士の認知度向上策、企業または企業内技術士会等による受験サポート等、組織的な受験者支援を行っている具体事例を収集し発信するとともに、報奨金等のインセンティブ以外での各組織における技術士数増加策に繋げてもらう情報を提供する。

【実施計画】

- ① 社内全員一次試験受験制度や認知度向上策、受験サポート(企業、企業内技術士会)、インセンティブ(公表可能なレベル)等を、幹事会のネットワーク及び HP/ML を通じて情報収集し、部会報のシリーズものとして企画する。(執筆者案も含めて企画)
- ② 部会報のシリーズ紹介(年2回) ⇒ HPの専用頁の開設(紹介&募集)
- ③ 5. 6. の企画(↓)と連携して、原子力関連学部学科、大学院独自の取り組みの有無、OBを通じた支援実績等を幹事会、原子力学会教育委に所属する部会員情報等を基に調査する。
また、大学原子力教員協議会や大学原子力実験施設連絡会等にアプローチしつつ連携を図る。
- ④ 事例が集まったところで、分析も交えて、月刊技術士等に掲載する。

【実施主体メンバー】

- ◆ ①の情報収集と全体計画策定及び④ …………… 企画担当者:中田、他広報班員
- ◆ ②のシリーズ執筆 …………… 各企業担当者で交代執筆
- ◆ ③の学校調査(必要に応じ) …………… 学会教育委や5. 6. 担当と連携

【スケジュール】

- H26/10 : 概要計画案(本紙)の修正、部会員への公表
- H26/11 : 基本計画のPTによる検討(数回分の執筆担当案まで)と役員会提議
- H27/1 頃: HP への計画紹介と募集、同時に個別依頼
- H27/ 4~: 部会報 16 号反映、以後順次掲載。段階的实施のため、計画の順次修正。
成果の蓄積に伴い、HPに専用頁開設

【外部への発表】

- ・ 取り組みを踏まえた月刊技術士等での投稿 (H27 年度中) 別途選定